

1. 男女平等意識について

性別による適性を認め合い協力する 5件

男	65～69歳	・異性の能力の尊重
女	70～74歳	・問19と同じ（性別の違いによる可・不可、向き・不向きは厳然として存在する。自分の事は自分で行う意識を育て、その延長として他者の為、集団を維持発展させるための意識を持たせる。）
女	50～54歳	・私の思う男女平等とは、女性にしか出来ない事、男性にしか出来ない事をそれぞれが成し、お互いみとめ合う事と理解しています。社会全体が男性優位なので、まずは考え方と小さな行動から変える事ではないでしょうか。例えば、来客のお茶出しは男性でも良いのでは?と日々考えています。男がお茶出しはみっともないという考え方を変えなければ…講座ではそのへんの指導をお願いしたい。
女	75歳以上	・男女平等とはいえ、出産は女性にしか出来ないことがあり育児や介護も、まだまだ女性(嫁)の役目と考える方が多いと思います。まずは意識改革が必要だと思います。得意、不得意もあるので、男女うんぬんより互いを認め合い、協力する姿勢が大切だと思います
女	60～64歳	・男だから女だからと否定的に扱われる事はどうかと思うがさすが男、さすが女と思われれることは良いと思う 男女共同参画社会づくりをすべて男女平等と考え固執するのはどうかと思う。 社会でも家庭でもできる人ができる事を協力し合えば良いと思う。助けたり助けられたり共に尊敬しあえれば良いと思う。

高齢者の強い男尊女卑意識 4件

女	50～54歳	・結婚してからこれまで全て主婦である私がやってしまったので主人は何も出来ないし、しようもありません。又、その両親もその通りでした。若い頃はそんなものかと我慢してましたが加齢と共に負担となりストレスです。いくら言っても理解せずワンマンで目の前で平気でタバコも吸うし、よそのご主人を見ると本当にガッカリします。多分、このまま変わらないと思います。でも子供達の時代は、変えられると思います。幼児の頃からしっかり教育してお互い助け合う事が当たり前になるようにして頂きたいです。宜しくお願い致します。
女	50～54歳	・女性は、仕事をしていても家事をするのはあたりまえ。男性は、仕事さえしていれば、家庭で何もしなくても、えらそうにしている。そんな昭和の男性をかえるのは、無理。学校教育で若い世代に期待する。
女	55～59歳	・男女共同参画意識に大切なのは、時代が違っていきっているということ、高齢者に理解させることも大事。若い人達が頑張っても、年寄りが口うるさく若い人の行く手をはばむ老害をまきちらせてはならないと思います。 組織の中でも、大いにみられます。 将来ある人達と共に上から目線のトンチンカンなことを言わず、共に歩むという姿勢があると良いですね。「LGBT」の問題を含めることも必須だと思います。 特に学校教育の場です。
女	70～74歳	・若い人達がともかく、60才以上の高令者の考えが、男尊女卑の精神が強く、女性である、私はあまりいろいろと意見を言えない。「年下の女性」に言われたことは…。」とすごい剣幕で怒られた経けんある。

性別ではなく能力によるリーダー登用 2件

男	70～74歳	・国会で大臣の数を女性に増やそうとしておりますが、これは間違いです。性差別をなくそうとしているのに性により数を調整しようとするからです。要は能力の有無で判断すべき。意欲のある人なら、男、女に関係なく(学歴も)登用すべき。いまはややもすると女性を多く登用するように本部が誘導している傾向にあり、先行きに懸念も感じられます。
男	25～29歳	・男女平等といってもそもそも身体の作りがちがいます。やはり力では男性の方が上である。分野などで分けその技能などでリーダーは変わると思います。その時に女性の方がリーダーであるべき時などに周囲の協力、応援のしやすい社会であって欲しい

性別ではなく個性や人格を尊重しあう社会づくり 2件

男	35～39歳	・男性、女性、性への違いは必ずあると思います。1人1人の性別では無く個性を伸ばすことで良りよい社会づくりにつながっていくと思います。地域がよりよい連携をもって強い母体になれば良いと考えます。
女	50～54歳	・平等とは、全く同じことをすることではないと考えています。男性でも女性の性をもっている方もいれば、女性でも男性の性をもっている方もいます。男女というよりも個々の人格を尊重し、支え合うこと(足りないところを)が必要なのではないのでしょうか。

男尊女卑意識の棄却 2件

女	55～59歳	・銚子は保守的で、男性優位の考えが強い所です。いくら、制度を作っても、男性の考え方が変わらない限り、無理だと思います。
女	20～24歳	・男尊女卑の古い考えを捨てるべきだと思う。

男女平等にしてほしい 2件

男	50～54歳	・男女平等にしてほしい。
女	40～44歳	・男女平等

能力あるリーダーによる指導 1件

男	60～64歳	・男女共同参画関する意識深めるには問題意識をもつ能力の高いリーダーを立て指導をおこなう
---	--------	---

男女ともに意見を出し合う 1件

女	75歳以上	・現在の社会では男女の格差は昔ほどではないと思います。どちらからでも有意義な意見を出し合ってそれを義論して出来るものは実行していけたらよいと思います。私もこのところ字を書かないのでまちがった字を書いたかも知れません。女だからとひっこまないで思った事は口に出し、男の方も良いと思った事はどんどん取り入れていけたら良いと思います。
---	-------	---

少数意見にいていねいに向き合う 1件

女	55～59歳	・「男女共同」というよりも 今ここにいる仲間とやりやすい活動のしかたをいっしょに考え、作っていくということがあたり前になればいいと考えます。若者と高齢者、主婦 学生、子どもなどそれぞれの得意不得意、できることできないことに心を配ることができれば、男女共同参画社会はあたり前になると思います。少数意見にいていねいに向き合う姿勢を大人たちが子ども達に見せていけば、1人ひとりが尊重される社会が実現すると考えます。
---	--------	--

性差の認識 1件

女	45～49歳	・男の人の方がえらい 女がいくら頑張っても男にはかなわない。そんなこと本当は誰でもわかっている。 昔の人がいっていたことを思い出さなくてはいけない。 銚子市長には何も期待しない。
---	--------	--

2. 男女の役割分担について

性別ではなく個性で協力しあう 2件

女	55～59歳	・男女平等という考え方が、体力、性別での働きが違うので難しい。外交的な女性、内向的な男性もいる。それぞれの個性で協力しながら物事を進めていければ良いかと。
女	40～44歳	・男女平等とはいえ、得意不得意分野はあるんで、お互いのコミュニケーションが大事ではないか。若い子たちほど、男だからとか女だからとかいう差別的な意識はないと思います。

役割分担教育 1件

女	50～54歳	・結婚してからこれまで全て主婦である私がやってしまったので主人は何も出来ないし、しようとしません。又、その両親もその通りでした。若い頃はそんなものかと我慢してましたが加齢と共に負担となりストレスです。いくら言っても理解せずワンマンで目の前で平気でタバコも吸うし、よそのご主人を見ると本当にガッカリします。多分、このまま変わらないと思います。でも子供達の時代は、変えられると思います。幼児の頃からしっかり教育してお互い助け合う事があたり前になるようにして頂きたいです。宜しくお願い致します。
---	--------	--

男女異なる役割の受容 1件

男	30～34歳	・これ以上、男女共同参画にこだわると、社会バランスがもっと、くずれていくような気がする。これまでやってきた結果、少子化にも、つながる結果になっている。男女、それぞれ、役割りがちがうと思うので、このままで、よいと思います。
---	--------	--

役割分担の是正 1件

女	75歳以上	・まだ女性が家事、子育てと仕事と男性にくらべると大変な思をしてる家族が多いと思います。
---	-------	---

3. 子育てと教育について

男性の育児休暇取得 1件

男	20～24歳	・いろいろな問題を抱えている家族もいます。男性にも、育児休暇などを下さい。
---	--------	---------------------------------------

母子家庭への援助 1件

女	55～59歳	・離婚後の母子へのケアには感謝しています。でも金銭面での援助がないので親の負担がたいへんです。独身者への税金の負担が大きすぎる
---	--------	---

男性の子育てにかける時間をつくる 1件

女	40～44歳	・人口が減少する、希薄になっている近所付きあい…。子育てしているお母さんは、昔より、1人で育てている時間が長い。子供に手がかかる頃は、男性も仕事で、忙しい年齢です。男性が半日だけでも、子供達の面倒をみれ、子育ての大変さを感じる時間が、月に2～3回あるだけで、女性は少し余裕ができるのではないのでしょうか？男性がセミナーに参加するよりも、女性が1日30分でも、1個人としての時間がとれることを望みます。
---	--------	--

4. 労働環境について

女性の働く場の確保 3件

女	35～39歳	・女性が稼げる仕事が少ない(銚子での仕事が少ない)事務職、保育士、介護士、賃金が少ない
男	20～24歳	・女性の働き先がないというだけで、田舎に嫁いでくれる人が近年少ない気がする。 銚子にもっと女性が活躍できる場をつくってほしい。 他県からの移民を広く受け入れてほしい。 男性の無職率(フリーター、ニート)などをゼロにする。
男	60～64歳	・介護職を中心に女性のきめこまやかな特性を生かす職場を増やす必要があると思います。

育児・介護休業できる職場環境の整備 3件

女	20～24歳	・育児・介護休業できる職場での環境を整えてほしい。
女	40～44歳	・育児、介護等で、その期間職を離れても、育児、介護終了時に再びフルタイムで職につく事が銚子市内で可能でしょうか?一定期間職を離れても、再び職につく事が容易となる様な活気が今の銚子市には無い様に感じます。職の場を増やす事で意見交換の場も増える為、互いを補い合える共同参画の社会を築いていけるのではないかと思います。
女	20～24歳	・女性が結婚・出産を経ても職場復帰しやすいようにすることが今1番すべきことだと感じます。

雇用の確保 2件

女	30～34歳	・就職先が少ない。特に正社員で働けるところがあまりなく、転職したくてもできません。
男	35～39歳	・仕事をふやす事

経営者や管理職の意識改革 2件

女	40～44歳	・経営者や管理職など、上の立場の者の意識改革が必要だと思う。
不明	70～74歳	・全からず男女共同参画社に於ては必ずしも男女平等とは言い難い。社会環響、経済環響に左右される 特に、社会保障、社会平等などは定着していない。特に企業中細企業主には上記の事は理解できない。御市に於かれましては増々の啓発活動に力を注いでもらいたい。

企業への指導 1件

女	50～54歳	・企業に行政側からも男女格差がないように指導する。高齢化社会になりやはり介護制度の充実は、すぐにでもお願いしたいです。自宅介護では、仕事はもてません。
---	--------	---

中小零細企業への支援 1件

女	70～74歳	・男女共同参画社会を地域にひろめるためには中小零細企業を支援していかなければ理想と現実がちがいすぎて市民に受け入れられないのではないかと思います。テレビ、新聞で報道されるこのようなことは大企業のことが多く、時短とか企業内保育とか育menとか光があたっている人達です。公務員には当たりまえでも育休や育児時間は民間は遠い夢が現実です。
---	--------	---

労働者の意識の向上 1件

男	70～74歳	・働く人の内質の向上!
---	--------	-------------

女性警察官の採用増 1件

女	16～19歳	・警察官の女性の採用枠を増やしてほしいです。
---	--------	------------------------

フレックスタイム制の導入 1件

男	30～34歳	・フレックスタイム制の導入を促進させる。残業時間の削減。 積極的に発信しようと前に前に出てくる女性は男性に比べると少ないと思うので、個別に招待をはたらきかけるようにして発信しやすい雰囲気を作ってみようということも大切だと思う。
---	--------	--

同一労働同一賃金の実施 1件

女	40～44歳	・仕事内容は一諸なのに(まったく同じ仕事、仕事と量、それ以上なのに女性だから給料が低い、絶対にあると思います。
---	--------	---

男女雇用機会均等の推進 1件

男	20～24歳	・近年は就職活動で男女平等の採用、雇用をする企業が増えてきているので、今後も増えるよう活動してほしいと思います。
---	--------	--

男性の無職率(フリーター、ニート)をゼロにする 1件

男	20～24歳	・男性の無職率(フリーター、ニート)などをゼロにする。
---	--------	-----------------------------

男女共に働ける環境づくり 1件

男	20～24歳	・男女共に働ける環境を作れば自然と、出会いが広がり少子化などの問題が解消されるのではないかと考えています。
---	--------	---

5. 男女共同参画政策への要望について

男女共同参画の周知・教育の充実 11件

女	45～49歳	・男だから、女だからという思いが自分の中に全くないわけではありません。時には女だからと男の人に頼る時もあります。人として大切なことは何なのかを知ることが出来れば良いと思います。そのためには情報の提供や、教育は必要なことだと思います。 男女共同参画という言葉に聞きなれなかったのも、もっと知る機会を増やしていくことが必要だと思いました。
女	50～54歳	・私の思う男女平等とは、女性にしか出来ない事、男性にしか出来ない事をそれぞれが成し、お互いみとめ合う事と理解しています。社会全体が男性優位なので、まずは考え方と小さな行動から変える事ではないでしょうか。例えば、来客のお茶出しは男性でも良いのでは?と常々考えています。男がお茶出しはみっともないという考え方を変えなければ…講座ではそのへんの指導をお願いしたい。
男	50～54歳	・学習院大学(むさし大学)にて教えている田中俊之さんの講演と、週一か月一のペースにて学級を開いてもらいたい(川崎市で好ひょう)

男	70～74歳	・男女共同参画社会へ向けての学習は男、女問わず全てが学習しなければならないと思うと同時に敢えて云うならば、女性に願うのは、もう少し政治学習、時事学習に関心を持ってもらえればいいと思う。
女	55～59歳	・男女共同参画意識に大切なのは、時代が違ってきているということ、高齢者に理解させることも大事。若い人達が頑張っても、年寄りが口うるさく若い人の行く手をはばむ老害をまきちらせてはならないと思います。 組織の中でも、大いにみられます。 将来ある人達と共に上から目線のトンチンカンなことを言わず、共に歩むという姿勢があると良いですね。「LGBT」の問題を含めることも必須だと思います。 特に学校教育の場です。
女	16～19歳	・“男女共同参画社会”というものがよくわかりません。まず、どういうものであるか教えてくれるような場がほしいです。
女	40～44歳	・男女共同参画社会とは、言葉では難しく感じるので、どんな方でもわかりやすく、そしてすぐ実行できる様なポイントなどの表示など工夫すると、みんな考えたり、気に止めたりする事で、変化する事もあると思います。
女	50～54歳	・小さい時からの学びが大きくなってからも頭にのこるのではないかな。
女	65～69歳	・町内役員を受けたが女性が一人なので参加する事があっても出席しにくい。 前の町内の時は二人いたので良かった。やはり女性も一人ではなく二人以上いると良いと思う 男女平等に、出来る様な、町内会長さんの集会がある時 講座を開催してほしい。 何十年も町内会長をしている町内があると聞いて、びっくりです。進歩がないと思う。
男	70～74歳	・良く考えられませんでした。銚子市では、どのような事をしているのですか？
不明	不明	・今の時代は私達70才すぎの若い頃は、女は、一歩下がってきた時代でした。でも今は、①(学校教育)の時期から推進すればいいのではないかと思います。

機運の醸成・普及啓発活動の実施 7件

女	65～69歳	・全てにおいて関心がうすいと思う。自分達の力で物事を変えようとする気持ちあまり強いとは感じられない。
男	65～69歳	・男女が共に生き生きとした社会生活を営み、男女共同参画社会を実現する為には、上記問28に列挙された具体の施策はとても重要です。その前提として、市民一人ひとりの意識の醸成(改革)と理解が不可欠であり、家庭、学校、職場、地域において、機運を醸成することが大切です。市においては、様々な施策の推進と併せ市民意識の醸成(改革)のための普及啓発活動が重要と考えます。
男	75歳以上	・情報提供、会合、社会機運の醸成を!
女	65～69歳	・この問題は、意識・制度・事業 すべてがそろってはじめて実感できると思いますが、若い人達が銚子に住んでこんな良い事があると思える市政を望みます。

不明	70～74歳	・全からず男女共同参画社に於ては必ずしも男女平等とは言い難い。社会環響、経済環響に左右される 特に、社会保障、社会平等などは定着していない。特に企業中細企業主には上記の事は理解できない。御市に於かれましては増々の啓発活動に力を注いでもらいたい。
男	55～59歳	・メディア等からの啓発にて国民への認識化を図って浸透させる意識改革を狙う。
男	40～44歳	・共同参画は企業の考え方で変わる為、市への期待はないです。市が考えられるイメージが湧きません。共同参画社会とは、具体的にどの様な状態を銚子市はイメージ、目標としているのでしょうか?、そこに市民の納得感がなければ、具体的な政策もただの押し付けになると思います。市政・市民が一体感を感じられる様に仕組みや工夫をして更に取組んでいく事を期待します。

市役所の女性職員の登用増 2件

男	65～69歳	・まずは市役所で働く半分を女性に。管理職も大幅に増やす。
男	60～64歳	・市政への女性リーダー登用(市議会等)

仕事と家庭・育児を一体的に考える 1件

男	50～54歳	・仕事と家庭、育児すぐに分離分断して考えてしまうこの国政府は何もわからずただ過去の成功体験でのその場しのぎ硬直化してしまった考えのこの国。そもそも社会と仕事も家庭育児もひっくるめた生業すべてが社会のはず。分断して考えてしまう呪縛をとかなければ何も先は見えません。同じことをしているのに賃金がもらえれば社会参加?いっそ仕事などという言葉をなくして生業というものにしてしまえばとも思うほどです。その出発点に立ってから色々考えていってみたいテーマです。健全な資本主義になっていれば自治体の負担も軽くなっていくでしょう。
---	--------	--

介護制度の充実 1件

女	50～54歳	・企業に行政側からも男女格差がないように指導する。高齢化社会になりやはり介護制度の充実は、すぐにでもお願いしたいです。自宅介護では、仕事はもてません。
---	--------	---

他県の事例を研究 1件

男	70～74歳	・他県に行って 良い点を勉強する様市長や役職員の方々に、心がけてほしい。他県に行って、またはホームページ等で勉強してきて下さい!
---	--------	--

女性が発信しやすい環境づくり 1件

男	30～34歳	・フレックスタイム制の導入を促進させる。残業時間の削減。積極的に発信しようと前に前に出てくる女性は男性に比べると少ないと思うので、個別に招待をはたらきかけるようにして発信しやすい雰囲気を作ってみるといことも大切だと思う。
---	--------	--

女性リーダーの比率増加 1件

女	65～69歳	・町内役員を受けたが女性が一人なので参加する事があっても出席しにくい。前の町内の時は二人いたので良かった。やはり女性も一人ではなく二人以上いると良いと思う。男女平等に、出来る様な、町内会長さんの集会がある時 講座を開催してほしい。何十年も町内会長をしている町内があると聞いて、びっくりです。進歩がないと思う。
---	--------	--

強く尊敬される女性づくり 1件

男	65～69歳	・銚子の昔ばなしの中の海ん婆おさつの様な強い女性 尊敬される女性づくりをお願いします。
---	--------	---

LGBT問題を含めた学校教育 1件

女	55～59歳	・「LGBT」の問題を含めることも必須だと思います。特に学校教育の場です。
---	--------	---------------------------------------

職員の健闘に期待 1件

男	50～54歳	・これは難しい問題ですが、より高度な社会の実現の為に、避けては通れない課題だと思います。職員の方々の健闘を期待します。
---	--------	---

6. その他

他の優先課題に取り組む 7件

男	75歳以上	・男女共同参画が至上の課題ですか？市勢再興の為の手段・施策の先行ではないのかと思いますが、私には判りません。
男	50～54歳	・これ以外にやるべき事が優先する事が他にたくさんあると思う
男	70～74歳	・公共団体が力を入れてやる事ではないと思う。他に力を入れてやる事がある筈だ
女	16～19歳	・自分はまだ学生だからかもしれないが、男女間での不平等を感じたことがないので、それよりもっと、銚子市には解決に向けて尽力すべき課題があると思う。
女	60～64歳	・男女共同参画社会づくりに関しても大切だと思いますが、もっと、銚子は、やるべきことが他にあるように思います。それが何なのか、机上の空論で、おわらないように、皆さんも(担当部の方)銚子を、歩いて見て下さい。我家でもそうですが、高校を出ても就職先がないので、みんな、外へ出てしまいます。何か銚子に魅力があれば…若い人が、もっともっと住めるようになってほしいです。(税金の問題もあるのでは?)
男	45～49歳	・もっと先にやる事がある。企業がないため働きたくても仕事がない
女	16～19歳	・大学生になり、市から離れたりして、また帰ってきたいと思う頃には破綻してしまってふるさとが無いのではと不安になる。男女共同参画政策が行われているという実感は全くこれまで無かった。住んでいる人に実感のないよくわからない政策よりも、大人になっても安心して帰ることのできるふるさとであってほしい。要するに、財政難の改善を最優先にしてほしい。生まれてから住み続けているが、年々町に活気が無くなっているように感じる。

必要なし 2件

男	25～29歳	・あえて男女平等を強調する必要はないと思います。
男	45～49歳	・男女平等という言葉だけが、1人歩きしているように感じます。平等を勘違いしていると思います。

わからない 4件

女	65～69歳	・銚子市が男女平等に遅れをとっているとは感じませんでした。大なり少なりの男女の格差はあっても…
女	35～39歳	・そもそも男女共同参画社会って何?
女	40～44歳	・男女共同参画社会づくりがどのような事をするのかわからないので、意見も要望も考えられない。
女	16～19歳	・“男女共同参画社会”というものがよくわかりません。まず、どういうものであるか教えてくれるような場がほしいです。

アンケートについて 4件

男	45～49歳	・財源が少ない現状なにもできない。質問が多すぎます。
男	65～69歳	・このアンケートにいくらかかりますか。ムダにするな。市長へ、必ず伝えて。
女	55～59歳	・12月の年末にこの様な大切なアンケートは女性にとっては大変、仕事、家族のことなど毎日せわしいことに加えて年末のさまざまな、仕事もありちがう時期を検討すべきではないでしょうかまた財政も大変ななかこの様な立派な用紙は必要なし。
男	35～39歳	・良い紙使いすぎでは?税金のムダ

意見なし 14件

女	70～74歳	べつにない
男	45～49歳	特になし。
男	45～49歳	思い浮かびません
男	65～69歳	特になし
女	70～74歳	どうやって書いたらいいか?考え付かない?
女	16～19歳	特にありません。

男	40～44歳	特にない
男	50～54歳	なし
男	45～49歳	特にありません。
男	20～24歳	なし。
男	60～64歳	特になし
男	60～64歳	特になし。
男	75歳以上	意見はイッパイあるけど節造は何かと忙しいからね、ごめんなさい。
男	50～54歳	これは難しい問題ですが、より高度な社会の実現の為に、避けては通れない課題だと思います。職員の方々の健闘を期待します。

市政への意見(記述欄を間違えている疑いのあるもの) 16件

女	55～59歳	・個人営業の立場上、むずかしい問題が出てきます。雇用者との意見の違いはなかなか理解してもらえない所です。
男	50～54歳	・他市町村より銚子市は、市職員が多すぎるので、削減すべきである。 財政難とうたっていつて、自分達の退職金は、予算からキープする制度を改善すべきである。30年後には、銚子市は消滅都市に入っている。税金は市民のために使うのであって、市職員、老後生活の安定のためにはない。日頃の自分たちの仕事の姿を反省すべきである。財政難なら給与・ボーナスも減らせ。 市民は、お前たちの飼せ犬じゃないぞ。お前たちは遊び半分で仕事をしているだろう!!
男	16～19歳	・ボランティアを必要としている人や行事はたくさんあると思うが、それを指導したり、養成したりする人の教育、リーダーの育成の講習がたくさんあればいいと思う。
女	55～59歳	・役所の方が地域に出ていく事を大いにして下さい。文章の作成だけでなく。
女	55～59歳	・まずは人口減少対策をしないと若い人達が銚子市に住居をかまえられる様に仕事、子育て、住宅対策をする。高齢者ばかりでは、社会づくりできないと思う。
女	30～34歳	・○わかって欲しい○ 豊岡地区は消防署問題は生死に直結していることを理解してほしい。 救急車の来るのが遅い「死のエリア」は「家族に何かあった時、お金・人手が無い家は発見が早くても障害者になってしまうので脇で様子を見て呼ばなきゃならないかもな」などという話をきいた事があります。 ※もし、まったく変わらない様子なら…友人達にも銚子に住むことは絶対にすすめないし、とめると思う。今の時点ではとめた経験あり。
女	70～74歳	・市の経済力がないというのに市職員、市議員が、多すぎる。市役所は誰かとなりがりがないと入れない?とかのウワサもある。 銚子市なのに元々波崎生まれ育ち現在も暮している人が多いのは銚子市民の職場をもうばっている。若い人の就職先がこれだけでもへっていることになる。夫婦共市役所だの校長、教師を許しているのがおかしい!

女	65～69歳	・審議会等の行政機関の世代交代、新規参入者が入りづらい。
女	60～64歳	・銚子市に住んで40年、一度も市立病院へ行ったことがありません、本当に必要でしょうか。
男	70～74歳	・人口激変(神栖の方へ流れる)生活しやすい 物価他
男	60～64歳	・人口の割にくだらない市議員が多い。市の老人ホームの拡大。安く入れる老人ホームがほしい。
男	60～64歳	・銚子市が厳しい状況に有るのは誰もが知る所です。昔の恵まれた環境ゆえに、変化について行けなかった事が今の銚子かと思います。越川市義様はじめ市のリーダー格のメンバーが他人事、どこか仕事を越えたアクションを起こせたら、市民を遠慮なく巻き込んで、官民全体でふるさと銚子を必ず活性化出来ると思います。ポイントは銚子市が市民に何に出来るかでは無く、市民に何をしてもらうかを、銚子市がリードする事かと思います。回答が遅くなり大変失礼致しました。
女	55～59歳	・年を取ってきて体力的にも気力も落ちてきて、仕事をすると言葉の暴力をうける。たえられず、仕事をかえても「気にいらないならいつやめてくれてもいいです。」と店長にパワーハラされるし、賃金の話しなどぜんぜんできない。仕事があるだけましだと思いながら仕事をするのも、気がめいるこんな思いがつのるとうつ病や精神的に追つめられる人も多いと思う。
男	75歳以上	・(まちづくりについて提言) ☆銚子市の危機的状況を打破する事が最重点課題と考える ◎人口流出(減少)問題…地元で働ける雇用の創出 銚子から神栖へ「プチ移住」…何とか智恵を出しストップを ◎幹線道路の整備、①銚子連絡道②国道356バイパスルートの開発、1日も早く ◎地域医療の充実…市立病院診療科目の減少等々 安心、安全の町はどこへ… ◎議員定数の削減及び報酬の削減 ◎情報の公開…政務活動費等…広報ちょうしへ記載等…みえるかの促進 ◎観光は銚子、香取・成田、三市連携推進を。
女	50～54歳	・病気への偏見を無してほしい。(うつ病など)(のう疾患)働きたくても、病気への偏見があり、採用されない。 学歴(中卒だと採用されない)高校中追も、家族の事情がある(学費がはらえず、仕方がなく、自主退学の場合もある)(母子家庭のため)母子家庭の子供達の声聞いてあげてほしい。本音をです。私は、色々相談しても、解決しない事がたくさんあります。 銚子市に来てから、あきらめてます。なぜ、私のところにこのようなアンケートが来たが不思議です。
男	45～49歳	・銚子市の財政が大変きびしいのに、郵便等使わず職員に手わけして、無給でやらせるべきだ。